



29

5-0223

0245

明治四十三年九月二十日

警政署 陸軍部 陸軍省 陸軍省 陸軍省

受第 20877 號 附屬書類添附

外國旅行件 通條

明治四十三年九月廿日 陸軍次官男爵石本新六

外務次官右井菊次郎 殿

左記者外國旅行件 允許 本國九

月下旬より一箇年分紙豫定可旅行

改候條承知 本國度候也

右兵部二格副官

陸軍歩兵大尉 吉井信昭

名

關係
事務

別紙

一 研究項目、海峽殖民地附近ニ於ケル軍事一般ノ視察
二 旅行計畫、明治甲午三月下旬本國出發十日中旬英領シ

ンガポールニ着爾後約六ヶ月同地滞留次ニ馬來
聯邦諸國、シヤバ、ボルネオ地方旅行ノ上明治
甲午年八月ニシガポール發歸朝ノ豫定

陸軍

5-0223

0247

文書 送

明治三十三年九月二十一日發受

浄書 校正

明治三十三年九月二十日發

第二課 主任

政務局長

手書

吉井

新嘉坡

在

小野大匠

吉井大尉 軍事視察、為ン南洋

地方へ渡視、件

外務省

陸軍歩兵大尉吉井信昭

海峽殖民地附近、於今ハ年一放

視察、於ノ本月下旬出發十月中旬

シンガポールの島々、於今ハ月弓日地停兵、

往島未詳、即話七、ジャバ、おル子才

各地、於今ハ島々、其の島々、魚鱗云々

シ、其の島々、其の島々、其の島々

計、其の島々、其の島々、其の島々



四十三



明治四十三年十二月廿六日接受

主官 政務局

受第 28816 號

Handwritten signature and stamp

料啓

小官、部下タル歩兵大尉吉井信昭ナ
ル者海峡殖民地附近ニ於ケル軍事視
察ノ目的ヲ以テ請願休暇ノ許可ヲ
得テ去月渡航シ目下「シンガポール」滞
在中ノ處本人ノ軍事研究ニ從事
セサルノミナラス現役軍人ニ有之向後
其謀裁培管理事業ノミニ奔走シ波
后ル旨聞及候就テニ甚ク御手致ナカ
ラズ貴兄ヲ以テ該地領事ニ申進サレ
テ

明治四十三年十二月廿六日 陸軍

明治四十三年十二月二十四日

岩手第二旅团长 田中義一

改給片長倉地鐵吉殿

Handwritten note at top center

文書

明治四十三年十二月廿八日

91

明治三十三年十二月廿七日

第二課主任

長

政務課長

機密送第一六號

機密

在新加坡 正野局長 岩谷領事先 中村末生

吉井安兵大尉

買之取調ノ件

四十四年一月六日記録一部

外務省

陸軍安兵大尉吉井信忠
海峡殖民地附近ニ於テハ軍事
視察ノ目的ヲ以テ其筋ヨリ請
願休職ノ許可ヲ得テ貴地ニ
渡航ノ件ニ買シテ去ル九月廿
二日付送第百五十六号ヲ以テ中
道北京同官ニ渡航後軍事
研究ニ從事セザルノミナラス現役

軍人ニ有之間敷其護謨栽培
營利事業ノ之ニ奔走政居
其旨圖及此類ヲ以テ其真相
内報アツクキ旨其筋ヨリ依
頼指之於付右亦取調ノ結
果又亦回報成候如致中
進北

外務省

明治四拾四年壹月拾九日接受

主官 政務局

陸軍省 陸軍第一三三號

書狀傳達ニ関スル件

通牒

明治四十四年一月十八日

陸軍次官男爵石本新六

外務次官石井菊次郎殿

陸軍省 陸軍第一三三號

軍等視察ノ目的ヲ以テ英領海峽
殖民地地方へ旅行シ目下新嘉坡
附近ニ在ルハキ步兵大尉吉井信照ニ
同地駐劄シ帝國領事ヲ以テ別封
照會狀傳達セシメ度候事可然
事取計相成度候也

明治四十四年一月十八日 陸軍省 陸軍第一三三號

陸軍

新嘉坡

文書課長 明治四拾四年壹月廿日 接受 48

明治四拾四年一月二十一日

第二課

水田 豊原

急

明治四拾四年壹月貳拾日 達

政務局長 主筆

1 辨

立井 嘉成

石井 宗長

岩谷 副 欣 吉 先

小 村 大 庄

吉井 少 兵 大 尉 へ 書 状

村 交 件

四十四年一月十一日 記録 一部受

外 務 省

機 密

第 4 門

目下考地附近：滞在中心陸軍少
兵大尉吉井信昭へ別封竹島陸
軍省副官ヨリ、~~紙封~~ 今状送達方陸
軍省ヨリ依頼、非常者之珍付右
同官へ村交方可然、由取計、或、
然、中、送、也

社史第101号 附録 陸軍省副官竹島
著次中ヨリ吉井大尉先書状其始、
送、也

吉井大尉先書状

明治四拾四年貳月七日 接受

法務部

機密第二號

明治四十四年一月二十日

在野高坂

陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部



外務省 陸軍省 長倉公使 陸軍省

吉井陸軍大臣 陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部
十二月二十日 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部
は 陸軍省 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部
施り、允許、り得る也 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部

明治四十四年一月二十日 記録一 陸軍省

在新加坡日本領事館

局長
同手紙長

記 陸軍省、陸軍研究ノ古ノ年十月十日 陸軍省、
陸軍省、其心者、其心者、其心者、其心者、其心者、
地、入子方、付、付、付、付、付、付、付、付、付、付、
着、着、着、着、着、着、着、着、着、着、着、着、
不和、不和、不和、不和、不和、不和、不和、不和、不和、不和、
言、言、言、言、言、言、言、言、言、言、言、言、言、言、言、
ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、ラ、
中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、
岸、岸、岸、岸、岸、岸、岸、岸、岸、岸、岸、岸、岸、岸、岸、
庭、庭、庭、庭、庭、庭、庭、庭、庭、庭、庭、庭、庭、庭、庭、
招、招、招、招、招、招、招、招、招、招、招、招、招、招、招、
者、者、者、者、者、者、者、者、者、者、者、者、者、者、者、
名、名、名、名、名、名、名、名、名、名、名、名、名、名、名、

ト云々) 目之其ノ許アリケル所、コトハ其ノ耕地
入手ノ義ハ、此ノ段ニ於テハ、其ノ所ニ在リテ、日ニヨリ、
專心目的ノ研究ヲ行フニ、是ノ所ニ在リテ、其ノ中ニ
而シテ、其ノ目的トシテ、其ノ所ニ在リテ、其ノ中ニ
ト云々) 目之其ノ許アリケル所、コトハ其ノ耕地
入手ノ義ハ、此ノ段ニ於テハ、其ノ所ニ在リテ、日ニヨリ、
專心目的ノ研究ヲ行フニ、是ノ所ニ在リテ、其ノ中ニ
而シテ、其ノ目的トシテ、其ノ所ニ在リテ、其ノ中ニ
ト云々) 目之其ノ許アリケル所、コトハ其ノ耕地
入手ノ義ハ、此ノ段ニ於テハ、其ノ所ニ在リテ、日ニヨリ、
專心目的ノ研究ヲ行フニ、是ノ所ニ在リテ、其ノ中ニ
而シテ、其ノ目的トシテ、其ノ所ニ在リテ、其ノ中ニ

悔心ノ何レトモ、其ノ
右ノ回答中進級教員

在新加坡日本領事館

明治四拾四年二月十日

文書課長

明治四拾四年貳月 八日 接受

陸軍省

明治四拾四年 二月 九日

第二課

政務局長

陸軍省

陸軍省 陸軍部

機密

中田軍曹課長

吉井少兵衛大尉

取調回答一件

四十四年二月十日記録一部受

外務省

日暮、田中旅團長より依頼あり
成其吉井少兵衛大尉に取調
方一件、其在新嘉坡岩岩館
事代理員別紙写一通、報告有
之者、付其旅及而送付し、冒
査閱せ、成其旅中一途あり
解文第410号と添付し

明治四拾四年二月十五日

明治四拾四年二月十五日

第...番

第...番

明治四十四年二月七日

在新加坡

領事代理副領事

大尉



外務次官 大井菊次郎殿

吉井歩兵大尉、書状持交ノ件

本月二十日付律案第一号ヲ以テ申付成候

竹島空軍省副官ヨリ吉井歩兵大尉ニ

減封照会状、本日同大尉ニ小官ヨリ手渡

候ニ付テ右御了承相成度此段回答申進

候教具

四十四年二月二十八日記録一部受

在新加坡日本領事館